

生活保護利用者の暮らし 緊急アンケートの分析

2014年11月5日

生活保護問題対策全国会議

アンケート調査の目的

生活保護を利用している当事者の
実態と声を集め、当事者の立場に
立った制度改革の根拠資料とする
ため。

アンケートの概要

年齢

21歳～94歳

世帯員数

1人～12人

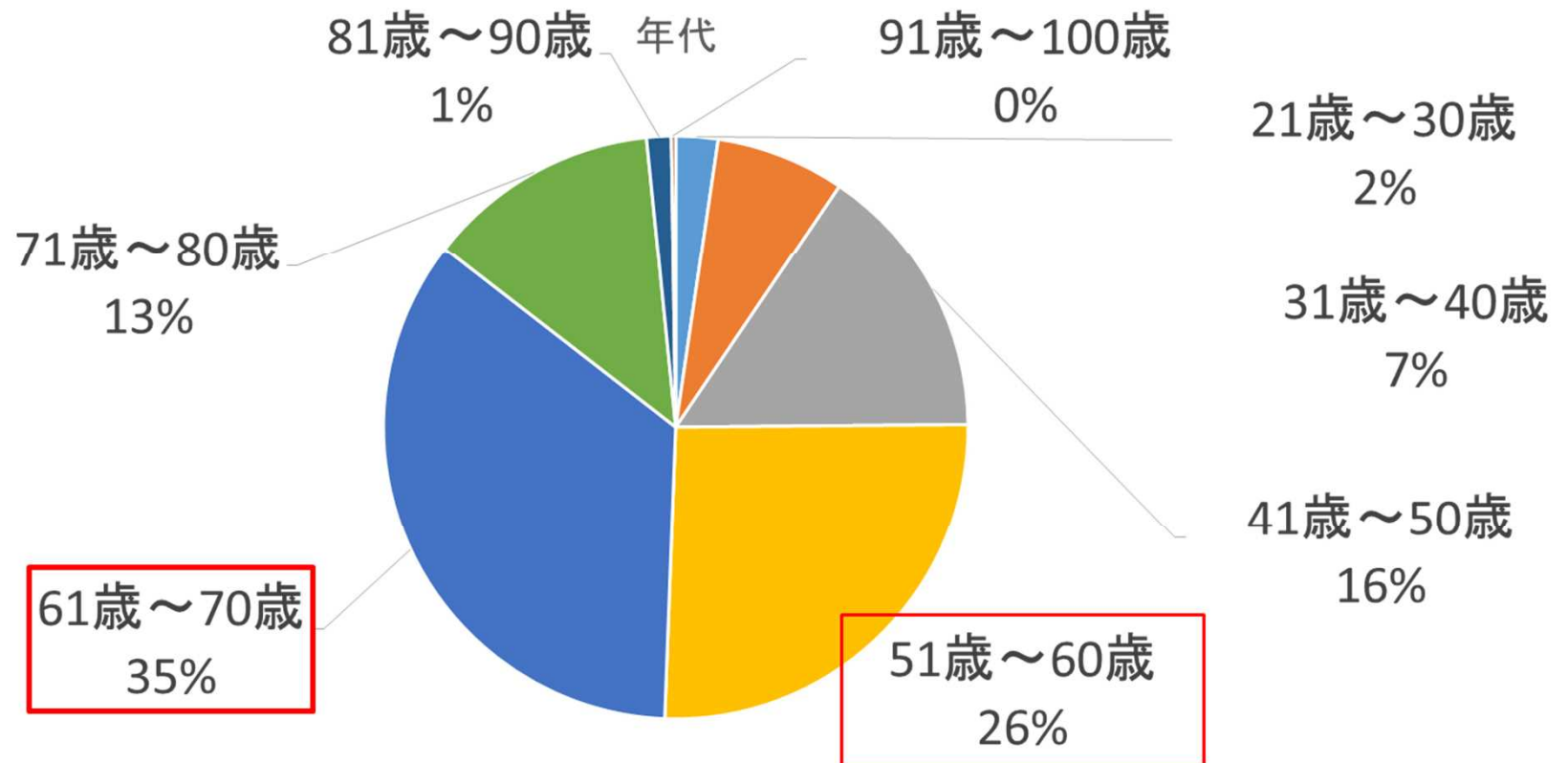
地域

北海道～沖縄

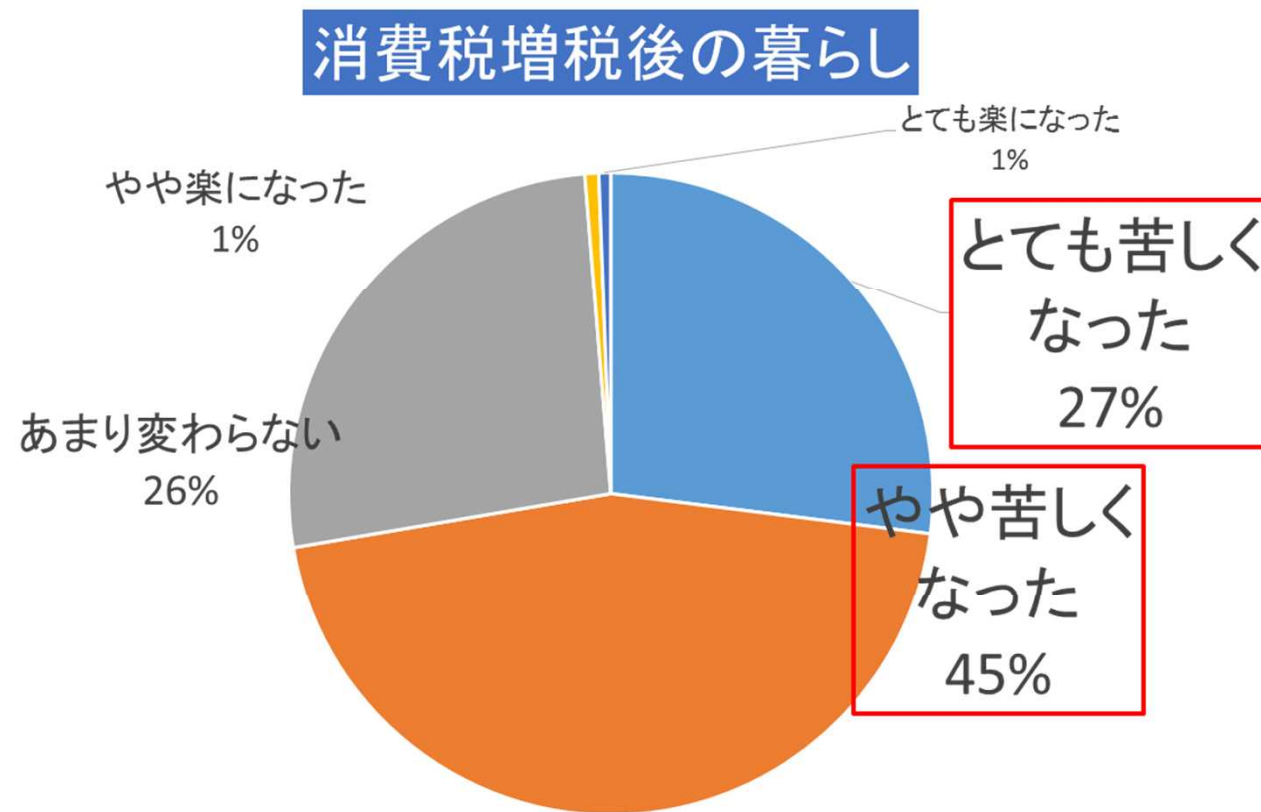
アンケート回収枚数

1285枚

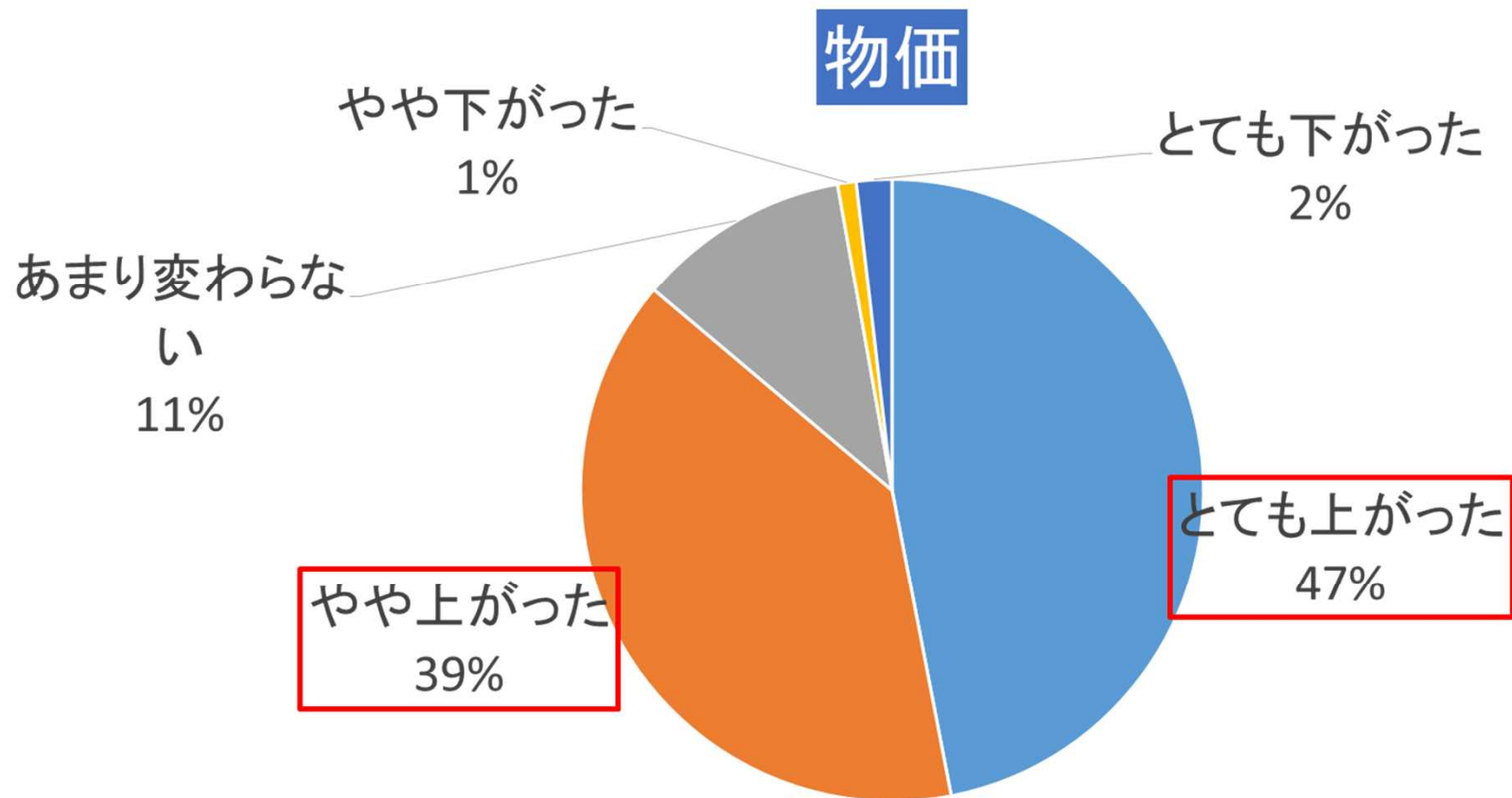
年代別



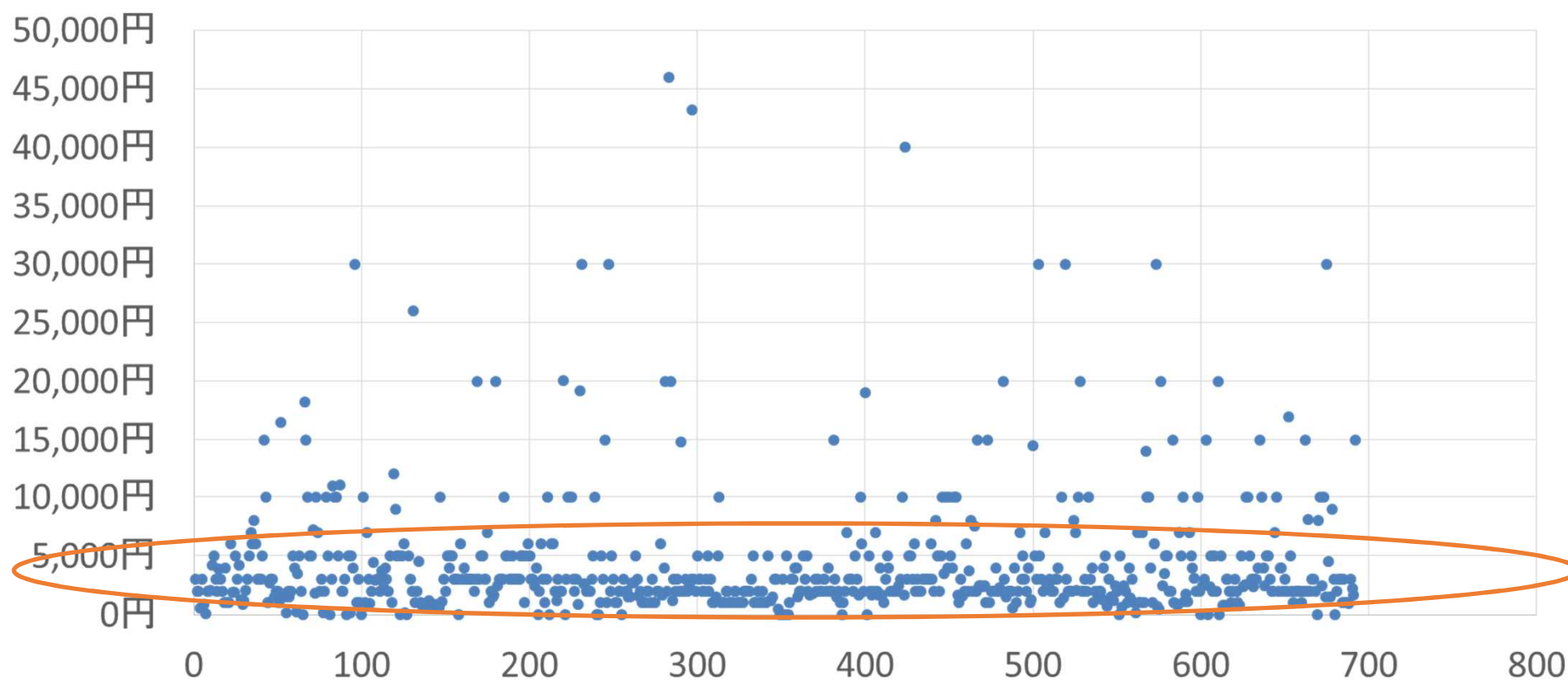
4月に行われた消費税の増税によって、暮らしは変わりましたか？



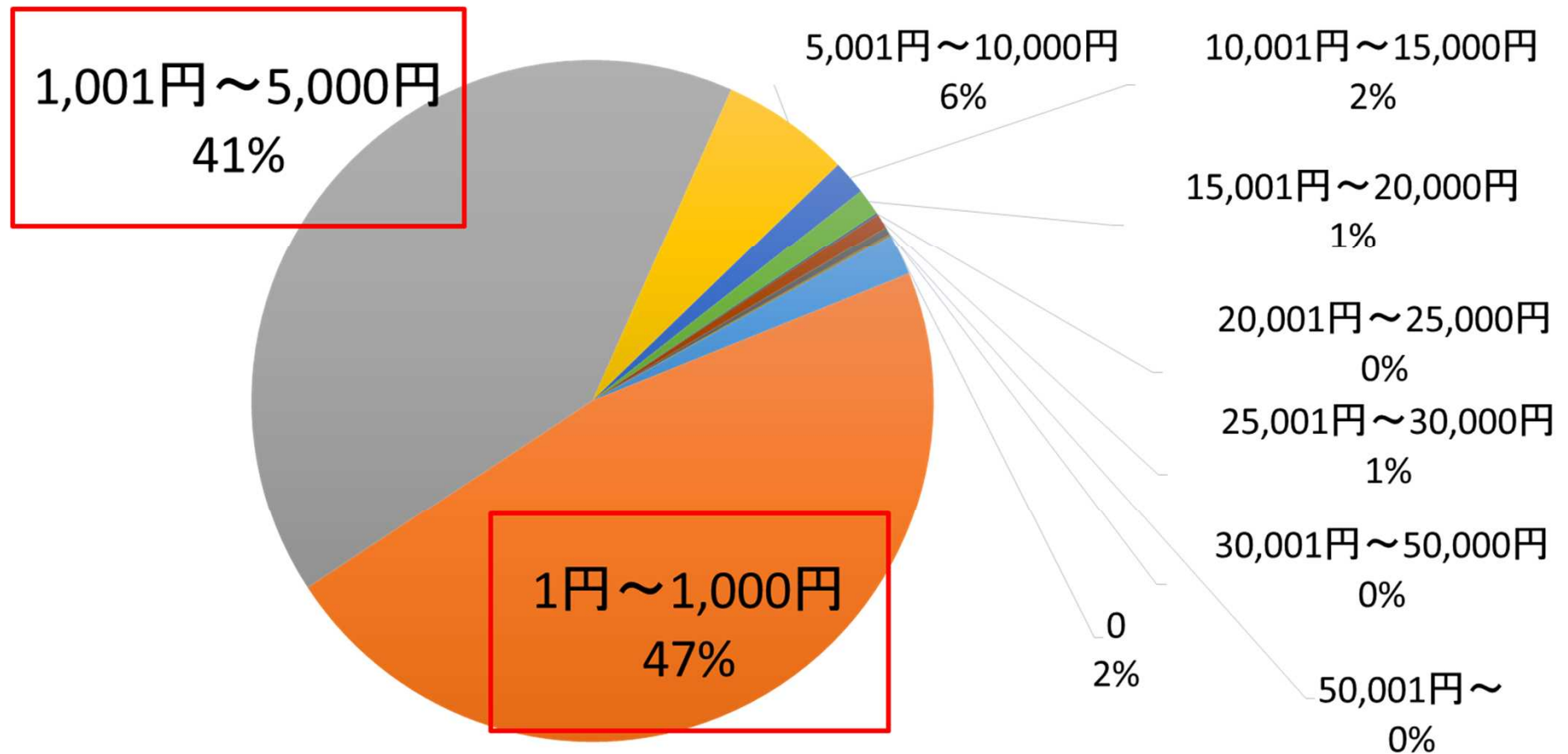
ここ1年くらいで物価はどう変化したと 感じますか？



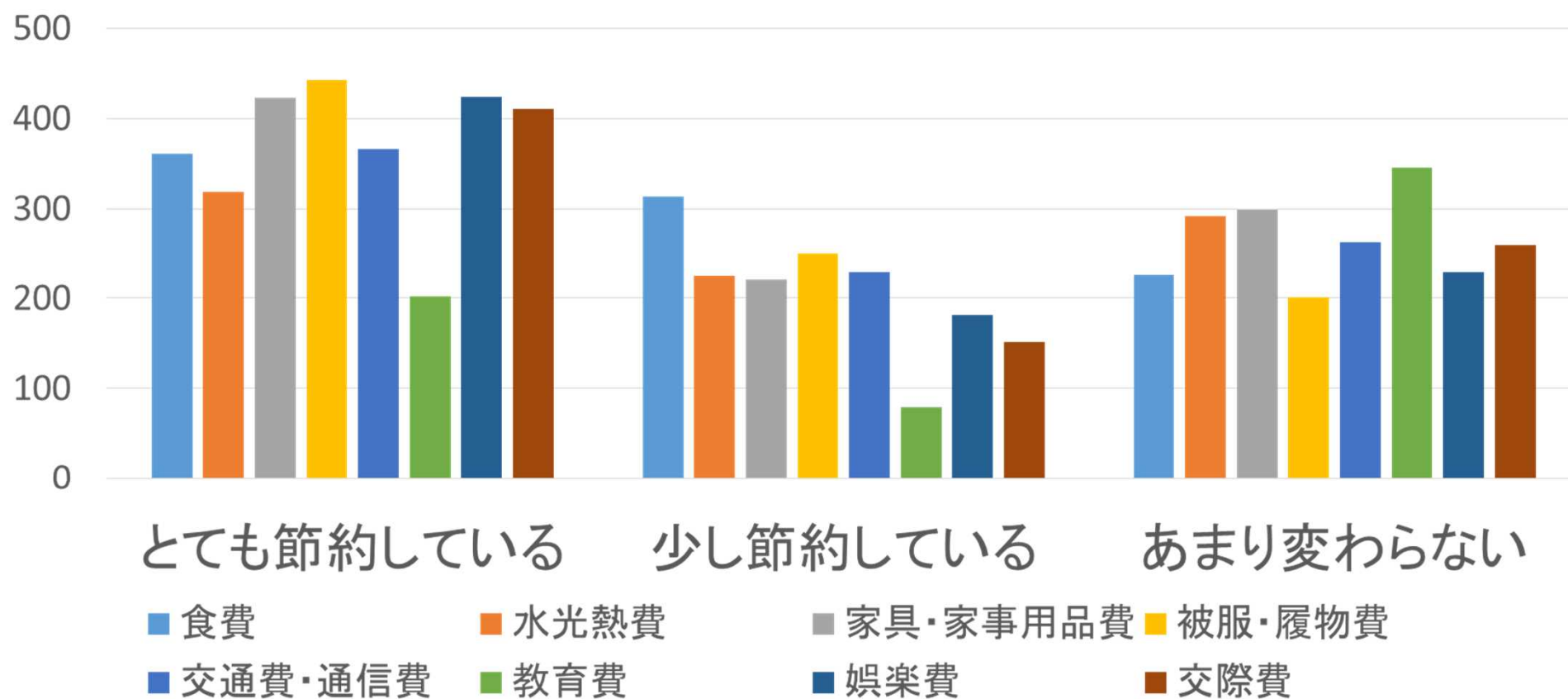
昨年7月までの生活保護費と今年9月の生活保護費を比べると、いくら減額になりましたか？



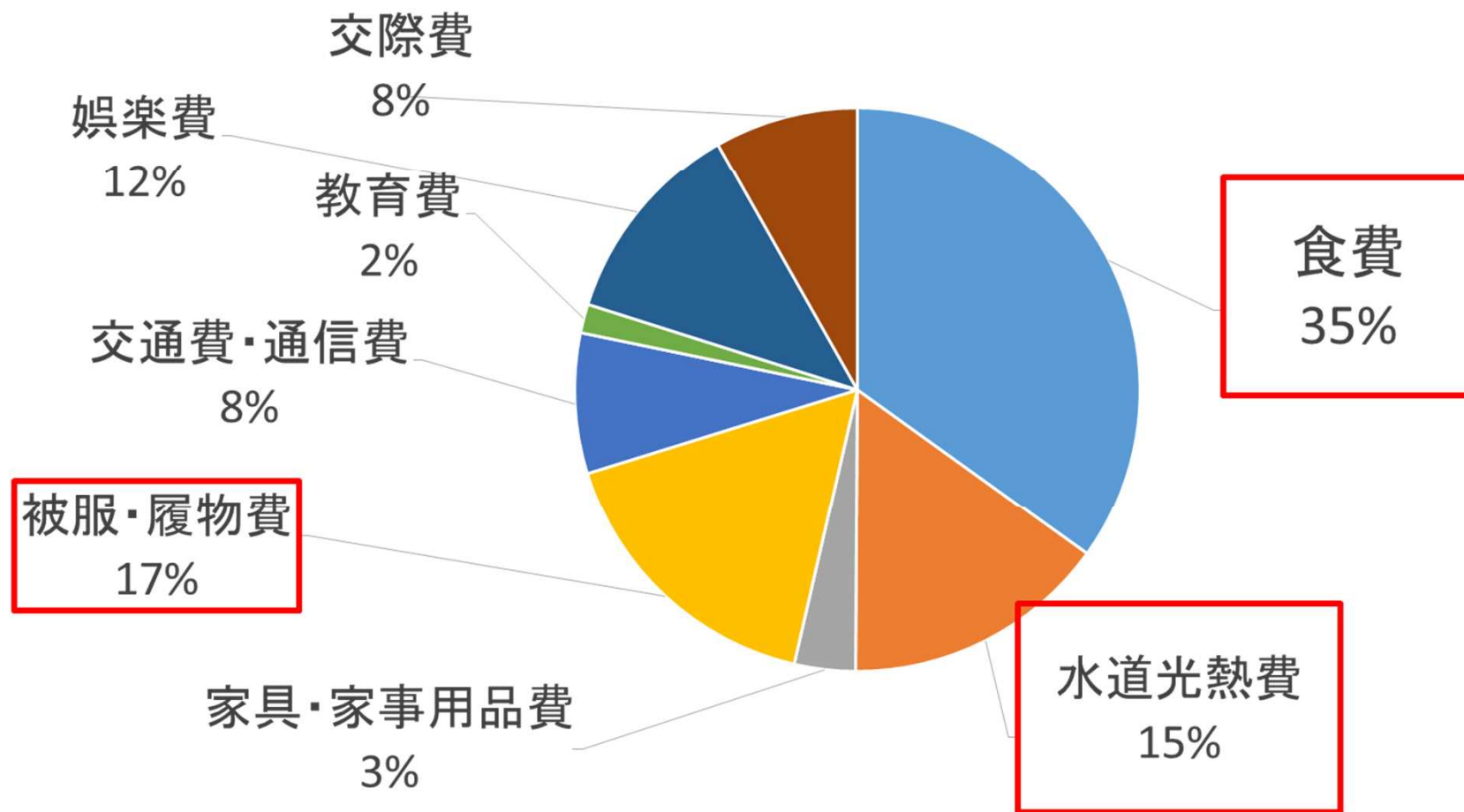
昨年7月までの生活保護費と今年9月の生活保護費を比べると、いくらが減額になりましたか？



昨年8月に生活保護費が減額される前と比べて、節約している費目がありますか？

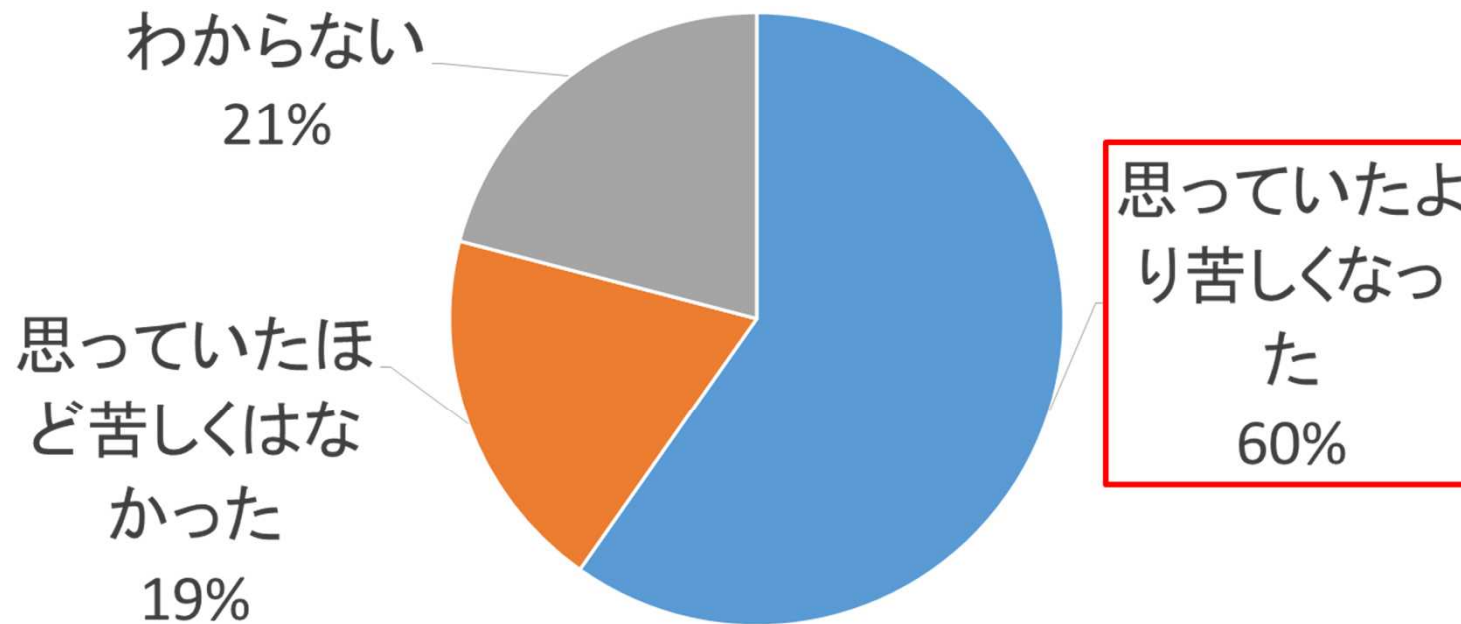


特に節約している費目と内容



生活保護費減額の暮らしへの影響は、予想していたのと比べていかがでしたか？

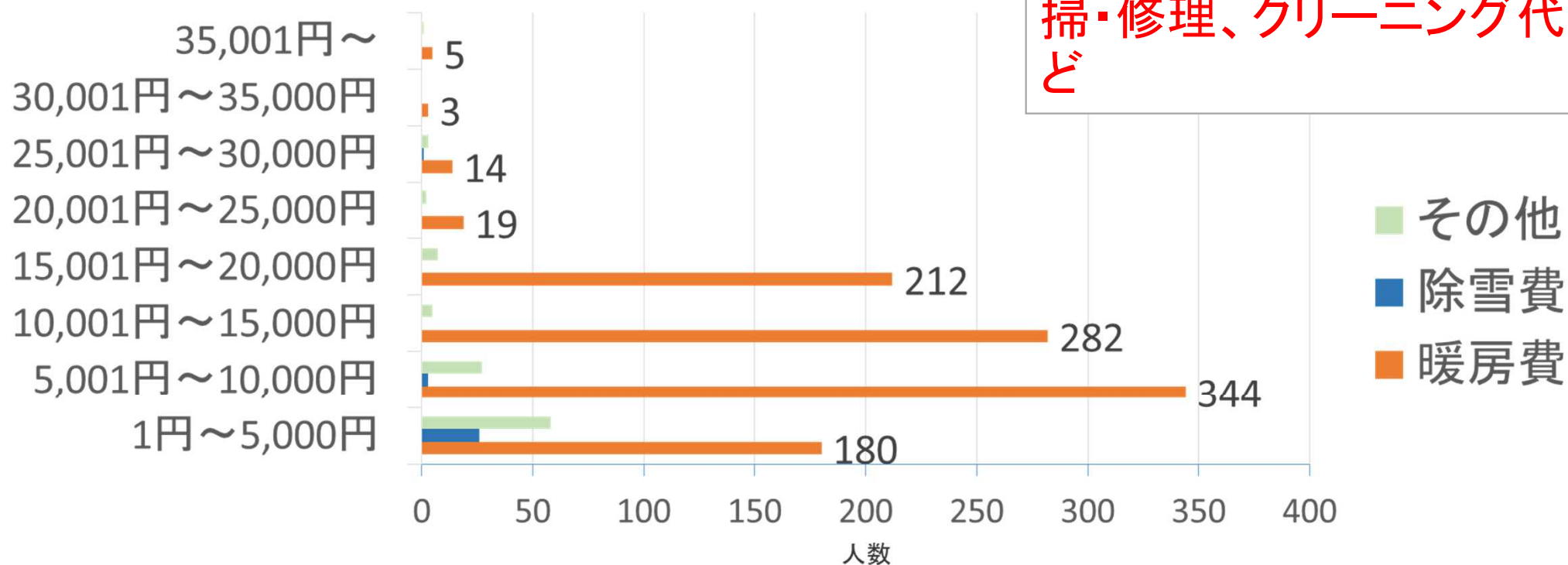
暮らしへの影響



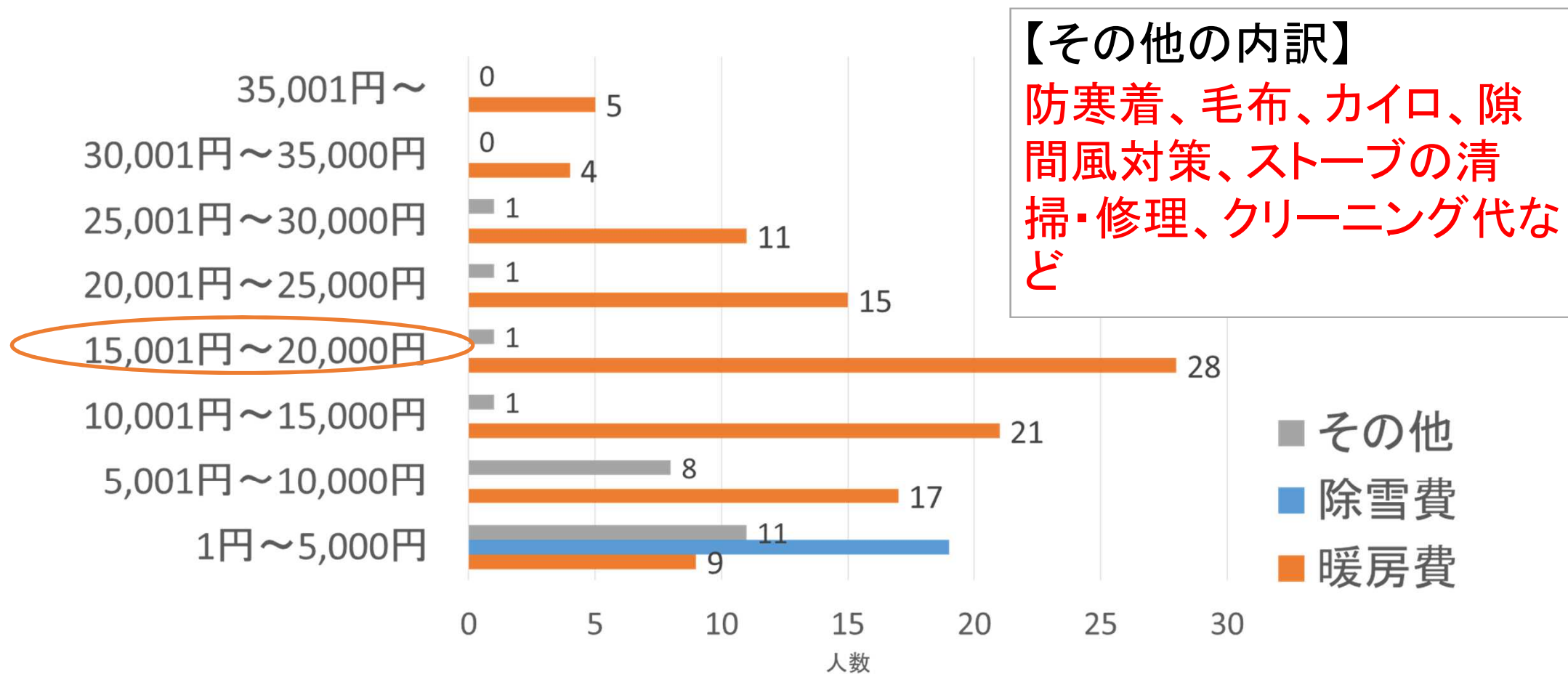
冬の時期に特に必要となる費目 はありますか？(1ヶ月間) (全地域)

【その他の内訳】

防寒着、毛布、カイロ、隙
間風対策、ストーブの清
掃・修理、クリーニング代な
ど



冬の時期に必要なとなる費目とその額(1ヶ月間) (北海道、岩手、山形、富山、長野)



冬季加算は冬季の需要を満たしていない

- 北海道など寒冷地での暖房は11月～3月だけでなく、4月～6月、10月も必要。
- 北海道の世帯平均の年間灯油代実額
＝1182リットル(2012年)×108円/リットル(現在の灯油価格)
- ガス代、電気代が増加。
- ストーブの掃除、長靴、コート、手袋、除雪等の「冬季需要」の存在。

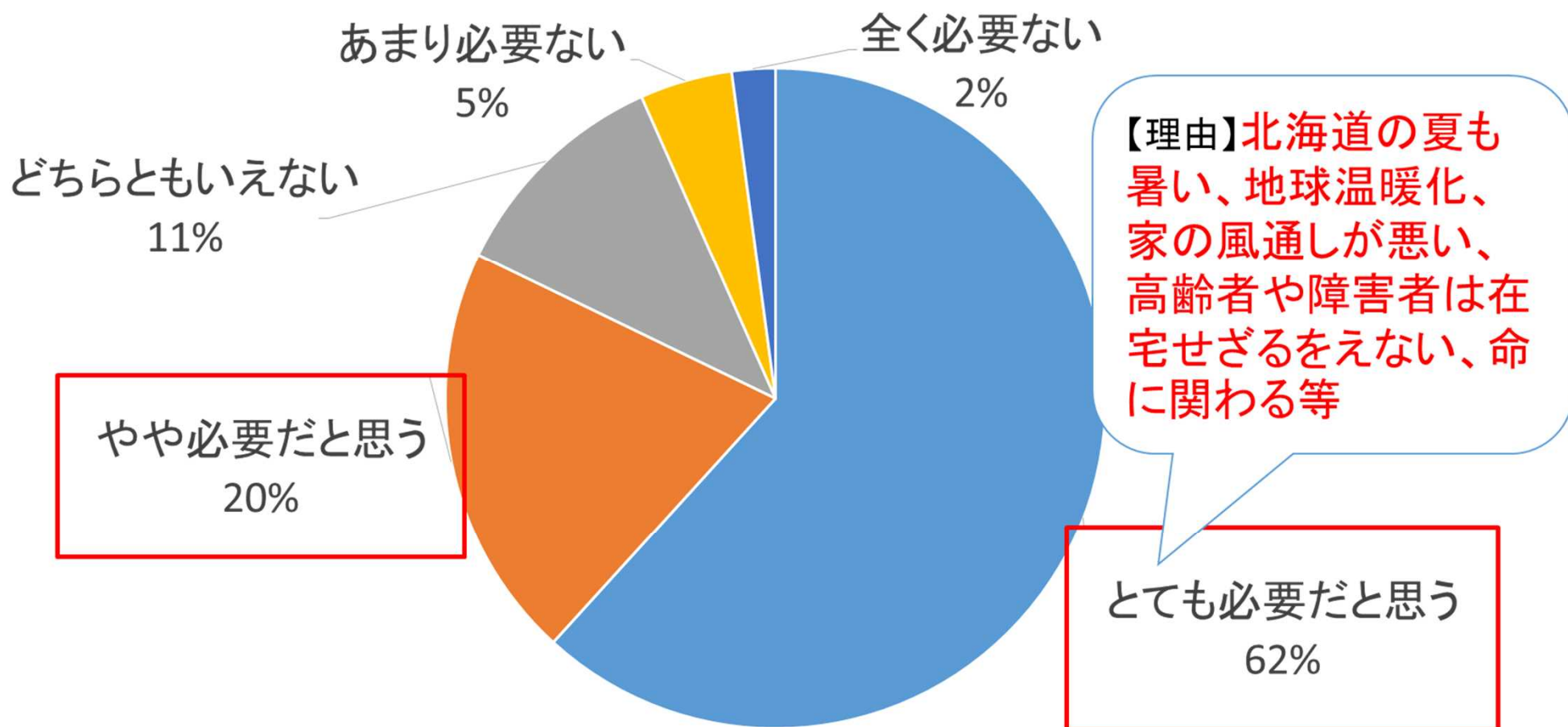
	灯油代実額	冬季加算額 (11月～3月)
北見	12万7656円	約12万9千円
札幌	12万7656円	約15万円

(2人世帯)

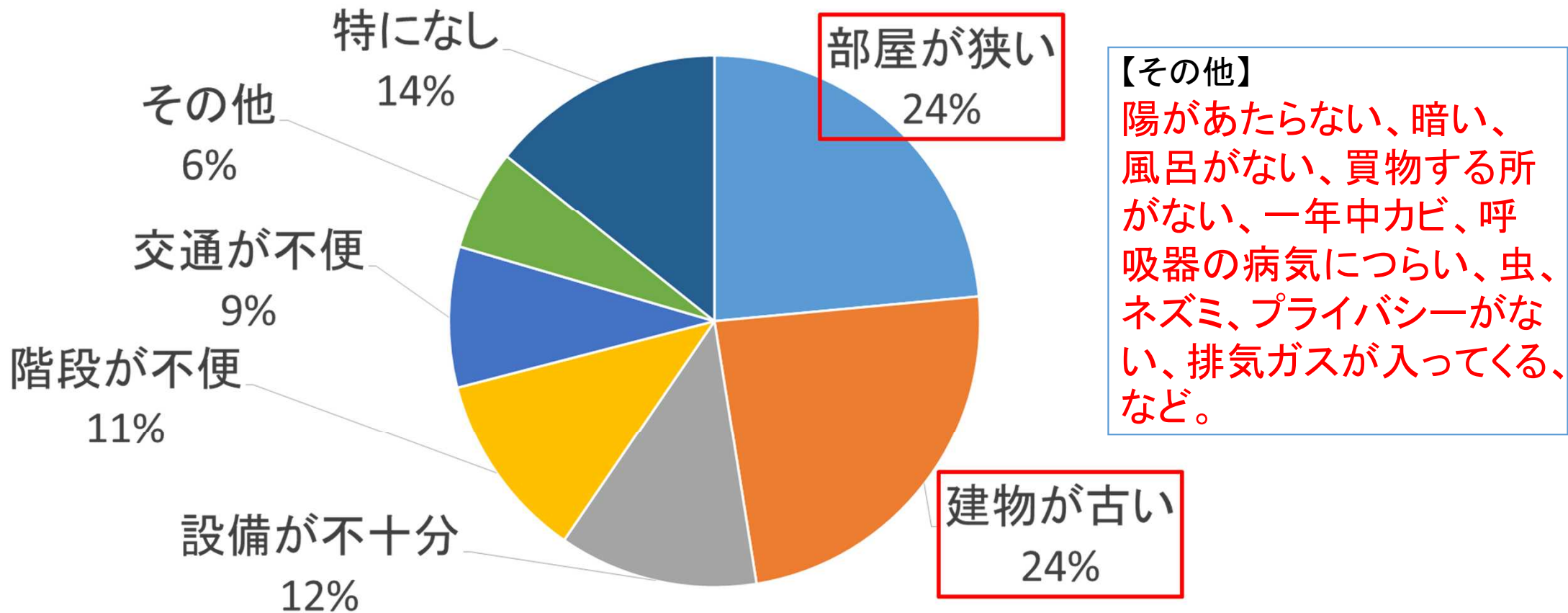
出所:『季刊公的扶助研究
第235号』P4～P5

ガス代、電気代
を考慮すると光
熱費だけで加算
額は不足！

「夏季加算」についてどう思いますか？



現在の住宅に何か不便を感じることはありますか？(複数回答)



アンケートから見えるもの

現在の冬季加算額でさえ、生活実態に則した冬季需要を満たしていない。

劣悪な住宅環境で生活をせざるを得ないため、暖房費等がかさむ。

冬季加算額、住宅扶助額で不足する分は現在の生活扶助費から支出せざるを得ない。



- 住宅扶助基準と冬季加算の引き下げは生命に関わるため、行うべきではない。
- 生活扶助基準の引き下げではなく、引き上げが必要。

政府への意見

これ以上減額されると命にかかわります。

今でもギリギリの生活です。

もうこれ以上追い詰めないで。

消費税が増税されるのに減額するのはおかしいと思います。

うえじにするの？しねということ

もう無理です

減額されると明日を担う子どもたちの人生を守ってあげることができない。

私たちをぬきで考えないでください

物価や消費税が上がった分、保護費を上乗せしてほしい

食品は非課税にしてほしい

総理に一度、月6万円で生活する苦しさを味わってほしい。

死より無し

今後引き下げをしないと死者が出る

何とか生活保護で生きているようなお姫様の気分になってきた

我々高齢者には早く死ね

さいていほしょうの文化活動には参加したい。

多数「意見いただいた。などなど。」